

敦賀3遺体事件

過酷な多重介護浮き彫り

敦賀市の民家で十一月十七日、住人の岸本芳雄さん(53)と妻志のぶさん(55)、長男太喜雄さん(70)の遺体が見つかった事件は、一日で発覚から一週間。夫・太喜雄さんへの殺人容疑で逮捕された政子容疑者(71)は、「一人で高齢の三人を介護しており、周囲に「しんどい」と漏らしていた。警察の調べに多くを語っていないが、容疑者の周囲に聞くと」「多重介護」の過酷さが浮かび上がる。

(高野正憲、大串真理)

3人を世話「しんどい」容疑者

「三人の首を絞めた」。事件後、睡眠薬を飲んで病院に運ばれた政子容疑者は、当初、警察の調べにひた隠す。だが現在は黙秘を続けているという。

岸本さん宅は、田園に囲まれた二十軒ほどの狭い集落にある。近所の人などによると、政子容疑者は太喜雄さんと大阪で知り合い、嫁いできた。十年ほど前、夫婦の娘一人が結婚して家を出た後は、芳雄さん、志

のぶさん夫妻と四人で暮らしていた。「よう世話してくれる」。政子容疑者について、志のぶさんが「自慢の嫁」として紹介していたことを、仲が良かった女性

のぶさん夫妻と四人で暮らしていた。「よう世話してくれる」。政子容疑者について、志のぶさんが「自慢の嫁」として紹介していたことを、仲が良かった女性

のぶさんは覚えている。近所の人たちも「思いやりのある人」と口をそろえる。

事件の一週間ほど前に一家を訪ねた八代女性は、「仲良さそうな四人に会つたばかりだった」と話す。

だが政子容疑者は事件の一ヶ月ほど前、親しい七

代の女性に漏らしていた。

「疲れた。体がしんど

い」。事件の数日前、風邪

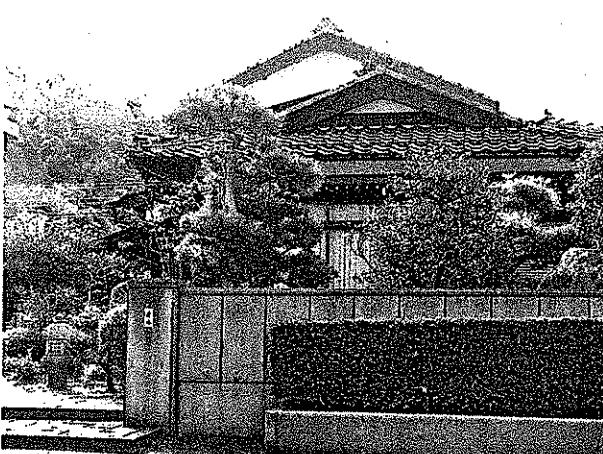
芳雄さんは昨年十一月時

で三日ほど寝込んでいたと

たばかりだった」と話す。

この情報もある。

3人の遺体が見つかった民家=敦賀市道口で

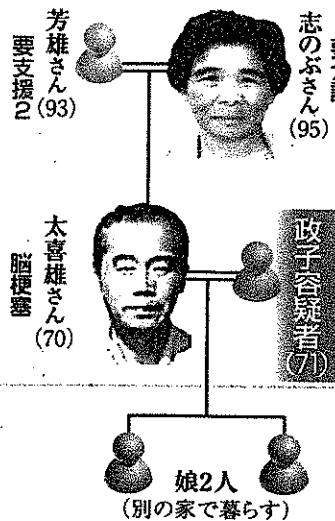


敦賀市によるところ、志のぶさんは今年九月時点で、身の回りの世話を部分的な介護が必要な「要介護1」。芳雄さんは昨年十一月時点で、より軽い「要支援2」の情報もある。

朝六時半に、車で五分ほど場所にある会社事務所を開け、冬場は暖房を入れてから自宅に戻る。午前九時ごろ、太喜雄さんを乗せて再び車で出勤。その後も両親のおむつの交換や食事の世話のため、会社と自宅を何度も行き来する姿が、近所で目撃されている。

「介護者も休まないと」

岸本家



警察局によると、二〇一八年、「動ける要介護者」の介護に「介護・看病疲れ」を動機。原因として発生した殺人事件は全国で三十一件に上っている。介護の問題に詳しい淑徳大の結城康博教授（社会福祉学）は、

「介護・看病疲れ」を動機。原因として発生した殺人事件は全国で三十一件に上っている。介護の問題に詳しい淑徳大の結城康博教授（社会福祉学）は、

「動ける要介護者」の介護

に「介護・看病疲れ」を動機。

原因として発生した殺人事件は

全国で三十一件に上っている。

介護の問題に詳しい淑徳大の

結城康博教授（社会福祉学）は、

「動ける要介護者」の介護

に「介護・看病疲れ」を動機。

原因として発生した殺人事件は

全国で三十一件に上っている。

介護の問題に詳しい淑徳大の

結城康博教授（社会福祉学）は